

研究課題 ・英語発信力を向上させるための指導方法

現状の課題

- ・英語でコミュニケーションをとることにプレッシャーを感じている生徒が多い。
- ・アウトプットが日本語からの単純な英訳になっており、英語的表現になっていない。

課題に対する具体的な取組の内容

- ・ALTとのやりとりの機会や授業内の英語表現活動を増やすことで、英語に触れる時間を多くした。
- ・事前学習として会話のパターンをいくつか提示し、ロールプレイをすることでプレッシャーを軽減できるよう工夫した。
- ・日本の文化などでは固有名詞を伝えるだけではなく、それが何なのかを説明するよう指導し、相手がイメージしやすい表現を心掛けた。
- ・英語でのあいさつやあいづちの表現を提示し、こういった場面で使用するべきか考えた。

成果①

・8月の事前アンケートでは62.5%の生徒が英語を話すことについて緊張すると答えたが1月の事後アンケートでは47.5%に減少した。回数を重ね、対話のパターンを覚えたことで英会話に対するプレッシャーが緩和されたようだ。回を重ねるにつれて、物怖じせず積極的に表現する姿勢ができてきた。

成果②

・始めは入室に怖じけついていたが後半はすぐ入室し予習をして待機するようになった。
・講座で使ったフレーズを普段の授業で実践するようになった。
・身の回りの出来事や文化等を英語ではどのように表現すれば良いか日頃から考える癖がついた。

今後の課題・方向性

・今後もこのような機会があれば、ぜひ活用したいと考える。
・iPad個体の不都合などもあり、通信に関わる環境整備が課題と考える。
一学年では振替授業を必須とすることで欠席生徒に対処したが、振替の申請の人数が多いと教員の負担が大きい。自動的に振替ができるようになるとありがたい。